

「ナノ複合化制御による特殊反応場の構築と 環境浄化への展開」

産総研コンソーシアム名古屋工業技術協会が平成26年度に支援を実施しました産総研と大学との共同研究の成果発表会を下記の要領にて開催致します。皆様のご参加をお待ちしております。

<全体概要>

近年の世界的な排ガス規制の強化によって排ガス浄化用触媒の重要性が増し、さらに貴金属や希土類元素などの希少元素の省使用化の流れの中で、ナノレベルで組成・構造が制御された触媒の開発が精力的に行われています。今回は、鉄化合物粒子の合成と排ガス浄化用触媒について協会から支援した成果を講演した後、排ガス浄化触媒関連技術に精通されている濱田秀昭博士をお招きして、環境触媒技術の研究動向と今後の展望について講演をして頂きます。

記

◆日時：平成27年9月14日（月）14：00～17：15

◆場所：名古屋駅前イノベーションハブ 会議室

(名古屋市中村区名駅4-4-38 愛知県産業労働センター 15階)

◆定員：35名

◆参加：協会会員及び公的機関等に属する方

※席に余裕がある場合は一般参加も受付いたします。(無料)

下記申込用紙をFAXでお送りいただくか、電子メールにて出席される方の氏名、勤務先、所属を明記の上、事務局アドレス(→お問合せ)へ送信下さい。

■ プログラム

14：00～14：45

「ナノ磁性粉体プロセスを応用した特殊反応場の構築」

砥綿 篤哉(産総研 無機機能材料研究部門 機能磁性材料グループ 主任研究員)

(要旨) ナノ磁性体の特性やプラズモン粒子光学特性を向上させるナノ複合化制御プロセスを紹介し、このプロセスを触媒に展開し特殊反応場の構築を目指した例を示す。

14：45～15：30

「ナノ磁性粉体プロセスにより合成されたナノ粒子触媒の環境浄化反応への応用」

羽田 政明(名工大 先進セラミックス研究センター 准教授)

(要旨) 触媒成分をナノ粒子化することで特異な触媒機能が発現することが知られている。一方、粒子形状が触媒反応に及ぼす影響についてはあまり検討されていない。本研究ではナノ磁性粉体プロセスで合成されたナノ粒子触媒の形状が如何に触媒反応に影響を及ぼすかを明らかにすることを目的として、ディーゼル車排ガスに含まれる粒子状物質(PM)の浄化反応について検討した結果を報告する。

15：30～15：45 休憩

15：45～16：45

「環境触媒の動向とその展開」

濱田 秀昭(産総研 触媒化学融合研究センター 名誉リサーチャー)

(要旨) 近年のエネルギー事情変化、地球温暖化問題、環境規制の強化に対応して、環境触媒技術の高度化が求められている。ここでは、従来型の自動車排ガス浄化触媒を中心に、最近の環境触媒の研究開発動向と今後の展望について述べる。

16:45～17:15 総合討論、名刺交換 (17:15 終了)

【お問合せ】

産総研コンソーシアム名古屋工業技術協会 事務局 (名古屋駅前イノベーションハブ内)

TEL: 052-583-6454 E-mail: aist-chubu-kyokai-ml@aist.go.jp

【会場案内】

名古屋駅前イノベーションハブ

TEL: 052-583-6454 FAX: 052-583-6462

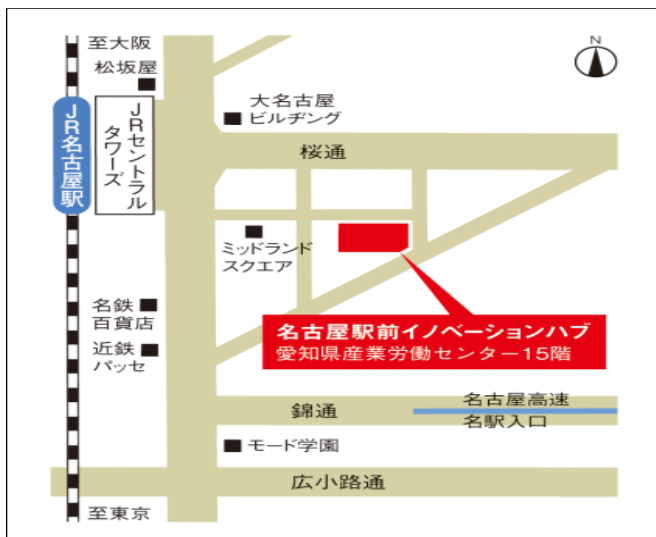
住所: 〒450-0002

名古屋市中村区名駅4-4-38

愛知県産業労働センター 15階

(愛称: ウィンクあいち)

※ 名古屋駅より徒歩5分



産総研コンソーシアム名古屋工業技術協会 平成27年度第1回研究会
(名古屋工業技術協会からの支援による産総研と大学との共同研究の成果発表会)

「ナノ複合化制御による特殊反応場の構築と環境浄化への展開」
(平成27年9月14日)

参加申込書

FAX: 052-583-6462

氏名 (代表者)		参加者数	名
勤務先			
部署名		役職	
住所 (連絡先)	〒	TEL: () -	E-mail:

※本申込書に記載される情報につきましては、個人情報保護法のもとに適切に管理し、本目的以外への転用は行いません。